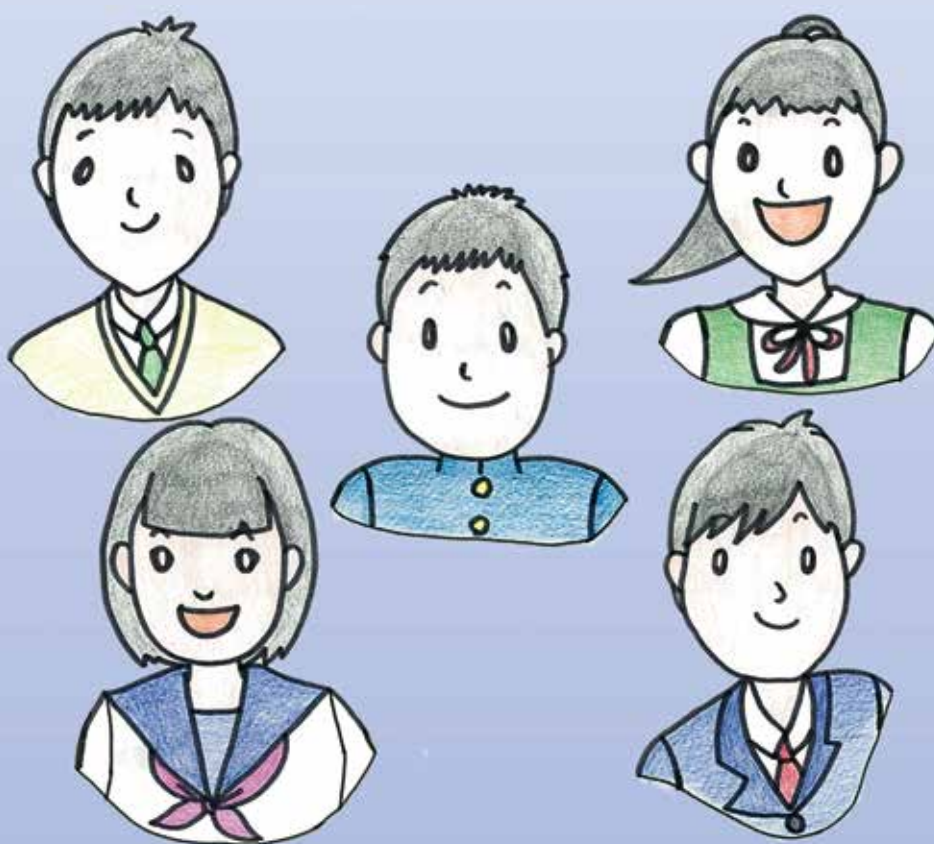



『読めた』『わかった』『できた』
読み書きアセスメント
～中学校版～

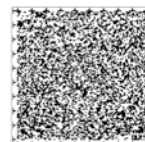
個別指導事例編



『『読めた』『わかった』『できた』読み書きアセスメント～中学校版～活用&支援マニュアル編
平成30年3月 東京都教育委員会』と併せて御活用ください。

平成30年3月

 東京都教育委員会

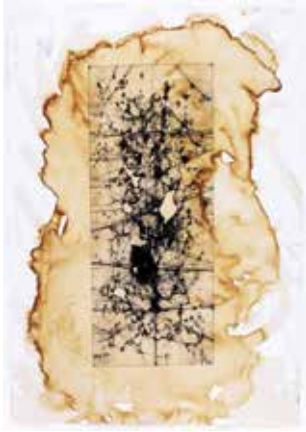




朝倉 未奈巳 《雪豹》



渡辺 雄成 《運動会、ハイ、よくできました！》



長田 和也 《BRONZE》



岩井 洋一 《flashback》



沈 美昊 《自画像》



山吉 匠 《アイアイ》

はじめに

東京都教育委員会は、これまで、「東京都特別支援教育推進計画（第一次～第三次）」（平成 16 年 11 月、平成 19 年 11 月、平成 22 年 11 月）に基づき、東京都における特別支援教育を推進してまいりました。また、発達障害教育の充実を求める都民ニーズに応えるため、平成 28 年 2 月に「東京都発達障害教育推進計画」を公表し、さらに、平成 29 年 2 月には、「東京都発達障害教育推進計画」を含む、「東京都特別支援教育推進計画（第二期）・第一次実施計画」を策定して、現在、全公立学校での発達障害教育の充実に努めているところです。

具体的には、平成 28 年度から全公立小学校への特別支援教室設置を促進し、特別な支援を必要とする発達障害のある児童が、在籍学校で巡回指導教員による指導・支援が受けられる体制を整えてきました。

また、公立中学校についても、平成 30 年度から平成 32 年度までの間に、在籍学校での巡回指導教員による指導・支援が実施できる体制の整備を進めてまいります。

発達障害のある児童・生徒が、在籍学校で指導・支援を受けられる体制整備が進むことから、これまで以上に通常の学級の担任と巡回指導教員との連携が重要になります。そこで、在籍学級担任も巡回指導教員も共通した視点で指導・支援に当たれるよう、都教育委員会は、「『読めた』『わかった』『できた』読み書きアセスメント～中学校版～活用&支援マニュアル編（平成 30 年 3 月）」を作成いたしました。

本冊子は、「活用&マニュアル編」を活用して実施した個別指導の事例をまとめたものです。皆様には、「活用&マニュアル編」に併せ、本冊子を活用していただき、発達障害のある生徒が、そのもてる力を最大限に伸ばし、将来の自立と社会参加を実現できるよう、各中学校での指導・支援の充実を図っていただきますことを心から願っております。

平成 30 年 3 月

東京都教育委員会

※本冊子に掲載している画像は、第 3 回東京都立特別支援学校アートプロジェクト展（平成 29 年 11 月 16 日から 30 日まで）で展示された作品です。

目次

個別指導の充実

- | | | | |
|---|-----------------------------|----------|---|
| 1 | 個別指導の必要性 | ・・・・・・・・ | 4 |
| 2 | 個別指導を進めるために | | |
| | (1) 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の活用 | ・・・・・・・・ | 5 |
| | (2) 特別支援教室との連携 | ・・・・・・・・ | 6 |
| 3 | 学習面から生徒を支える | ・・・・・・・・ | 7 |

実践事例

- | | | | |
|---|----------------|----------|----|
| 1 | 漢字の学習 | ・・・・・・・・ | 10 |
| 2 | 英単語の学習 | ・・・・・・・・ | 17 |
| 3 | 情報を読み取り、説明する学習 | ・・・・・・・・ | 22 |

まとめ

- | | | | |
|---|----|----------|----|
| 1 | 成果 | ・・・・・・・・ | 29 |
| 2 | 課題 | ・・・・・・・・ | 29 |

資料

・・・・・・・・ 30